

上川地域における森林認証の取り組み ～上川産森林認証材の利用促進事業を実施して～

北海道上川総合振興局産業振興部林務課 富永 健成

■上川地域の森林認証のあゆみ

上川地域は北海道のほぼ中央に位置し、全道の森林面積の15%を占める約81万haの広大な森林を有しています。また、豊富で良質な森林資源等を背景に、道内で唯一、優良広葉樹の競り売り（銘木市）が行われているとともに、家具産業をはじめとした木材産業が盛んな地域です。

管内では、平成15年に下川町が、地域の林業も適正な国際的ルールの下で展開していかなければ通用しないのではないかという思いから、北海道で初めてFSC[®]森林認証の取り組みをスタートさせました。まず下川町・上川北部森林管理署・私有林グループがFSC-FM認証を取得し、次いで下川町森林組合を中心にFSC-COC認証を取得しました。これらは、集成材、フローリング材やアロマオイルなど様々な認証製品の販売につながっています。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機とした国内での森林認証への関心の高まりを受け、平成30年6月、上川管内全ての市町村と森林組合及び一部の事業者による「上川森林認証協議会」が設立されました。この協議会を通じたグループ認証により、令和元年に一般民有林がSGEC-FM認証を、森林組合や製材工場等がSGEC-COC認証を取得しました。

その後、道有林のSGEC-FM認証取得、素材生産業者や木材加工業者等のSGEC-COC認証取得などにより、令和6年3月末現在、管内の認証面積は22万4871haとなり、COC認証取得事業者も63者*まで増加し、森林認証材の供給体制が整ってきています（表1、図1）。

*管外の本社等で認証を取得している事業者はこの数値から除いています。

このような地域の動きに対して、上川総合振興局では、令和元年4月に「上川産森林認証材の利用促進事業」を立ち上げ、上川森林認証協議会と連携した認証取得促進及び認証制度普及の取り組みを始めました。

表1 上川管内のFM認証面積

所有区分		認証面積 (ha)
一般民有林	市町村有林	33,381
	私有林	72,557
道有林		118,430
国有林		503
合計		224,871

令和6年3月末現在

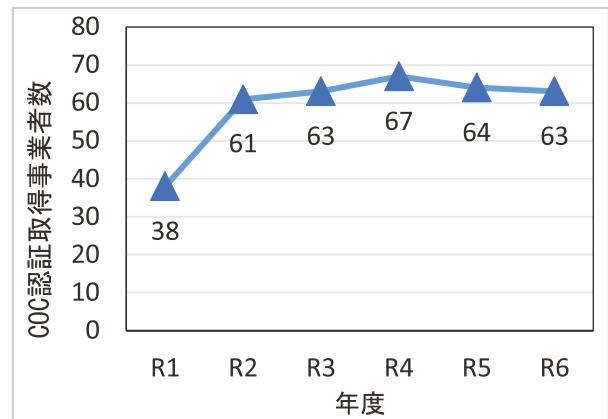


図1 上川管内のCOC認証取得状況の推移

※上川総合振興局林務課調べ（令和6年3月末現在）

■認証取得の働きかけ

北海道庁は、平成23年に「北海道地域材利用推進方針」を定めて以降、地域材を活用した公共建築物の木造化・木質化に取り組んできています。それに呼応し、上川総合振興局では公共建築物への森林認証材の積極的な活用を促すため、令和2年度から4年度までの各年1回、市町村の建築・林務担当者等を対象に説明会を開催しました。

説明会では、一般住宅の森林認証取得に取り組んでいる当麻町森林組合や、町立小中学校で森林認証を取得した美深町、道の駅で森林認証を取得した音更町などに講師を依頼し、公共建築物の木造化・木質化に関する情報提供や実際の森林認証取得事例の紹介を行いました。

また、FM認証を取得した森林から最終製品までの認証のチェーン構築を促進するため、令和元年度及び2年度に、素材生産業者・木材加工業者向けと家具製造業者・工務店等向けにそれぞれ各年1回、COC認証取得に係る勉強会を実施しました。

勉強会では、先進的な企業・団体による森林認証で取引を行った事例等の説明や、森林認証審査機関であるSGSジャパン（株）による森林認証制度や認証取得に関する基本情報の説明に加え、現地研修として造材現場・製材工場・加工工場等の各現場で、森林認証取得審査の際の注意点の説明を行いました。

さらに、2種類の森林認証取得のためのテキストを作成しました²⁻³⁾（写真1）。令和4年度は木材産業者を対象として、認証取得に関する情報をはじめ、認証取得のメリットや事業リスク低減の効果など、認証取得後イメージできるような内容としました。令和5年度には家具・クラフト製造業者、工務店等の加工事業者を対象として、エンドユーザーへの説明にも利用できるように森林認証制度が誕生した背景や意義、また道外での森林認証の活用事例を盛り込みました。

また、令和2年度からは、管内で環境問題や持続可能なビジネスに関心が高い次世代の経営者に集まっていただく戦略会議を開催し、地域一体となった認証取得促進、認証製品の利用促進についての意見交換を行っています。



写真1 作成した2種類のテキスト
左：令和4年度、右：令和5年度

■かみかわの未来の森を守る展示会の開催

木材産業関連事業者へ認証取得を働きかける一方で、森林認証製品の需要は消費者の選択的消費により決まっていくため、令和元年度から上川森林認証協議会と連携し、一般消費者に向けた普及PRを行う展示会を開催しました。（表2）

表2 展示会の開催場所と来場者数

開催年度	開催場所・(開催回数)	合計来場数(名)
令和元年度	旭川市(1)	不明
令和2年度	名寄市(1)・富良野市(1)	193
令和3年度	旭川市(1)・名寄市(1)・富良野市(1)	380
令和5年度	旭川市(1)・名寄市(1)・富良野市(1)・東神楽町(1)	550
令和6年度	旭川(2)・東神楽町(1)	211

展示会では森林認証制度の仕組み・概要を学ぶ事ができるパネルの他、管内企業等の森林認証製品を展示しました（写真2～4）。また、木材の魅力を伝えるため、森林認証材を使用した簡単な木工体験などの木育も実施しました（写真5～6）。

来場者には、森林認証製品のノベルティ（写真7）と合わせて、一般消費者向けのリーフレット（写真8）を配布しました。

リーフレットの製作にあたっては、大人と子どもと一緒に楽しみながら学べるような絵本のようなデザインとし、来場者の目を引くよう、同じデザインのバナーなどの展示ツールを製作しました（写真2）。



写真2 旭川会場の様子（R6年度）

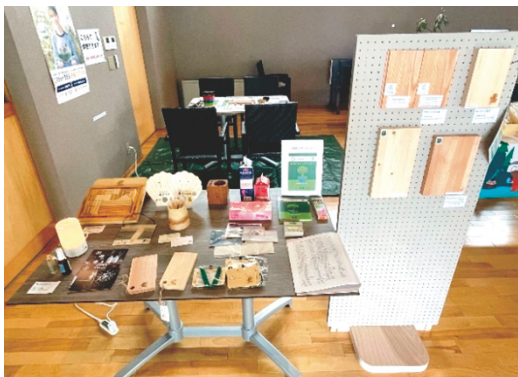


写真3 認証製品等の展示品 (R6年度・旭川会場)



写真7 配布したノベルティ (R6年度)



写真4 パネル展示 (R6年度・旭川会場)



写真8 製作したリーフレット



写真5 木工体験：認証材カスタンネット製作 (R5年度・旭川会場)



写真6 旭川農業高等学校と共催した木育広場 (R5年度・旭川会場)

これらの展示会では、木工体験を組み入れたり、多彩な森林認証製品等を展示したりすることで、多くの来場者に木材の魅力や森林認証の取り組みの意義が伝わり、「木材の製品が好き」「今後、森林認証制度マークを探してみようと思う」などの声が聞けました。

令和3年度からはアンケートを実施し森林認証に対する認知・感想等を調査しました。

令和3年度・5年度・6年度の3カ年の結果を比較すると、森林認証を「知っていた」と回答した来場者の割合が11%から24%まで増加しました。

令和6年度に3施設で実施したアンケート結果の一部を簡単に紹介します(表3)。

来場者の多くが森林認証制度を知らない中、大半の来場者から、森林認証製品と木製品の購入に前向きな意見が聞けた事は今後の普及の可能性が見える結果となりました。一方、木製品の導入の課題となっている理由では「価格が高い」に次いで「機会がない」の回答が多く、物販等も視野に入れた継続的な展示会等のイベント実施によって、地域の木材・木製品ひいては森林認証材の利用促進につながる機運を盛り上げていく必要性を感じました。

表3 令和6年度展示会アンケート調査回答

質問項目と回答の選択肢	人数(人)	割合(%)
Q1: 森林認証制度についてご存知でしたか?		
知っていた	30	24
知らなかった	97	76
Q2: 今後、森林認証製品を購入してみたいと思いますか?		
1 思わない	0	0
2	4	3
3	43	34
4	32	25
5 思う	48	38
Q3: 身近な生活に木製品を取り入れてみたいと思いますか?		
1 思わない	1	1
2	2	1
3	30	24
4	25	20
5 思う	69	54
Q4: Q3の回答の課題となる理由として近いものを教えて下さい(複数回答可)		
機会がない	36	25
価格が高い	65	45
興味がない	1	1
良いデザインが見つからない	22	15
すでに取り入れている	14	10
その他	6	4

■これからの展開

近年、脱炭素や持続可能性など様々な視点から一般の方の間でも森林の保護や活用に注目が集まっています。森林認証制度は、そうした消費者が認証製品を選ぶことで持続可能な森林管理を応援できる制度となっています。

また、持続可能な森林資源の活用の担保として、公共施設以外でも、大手民間企業により森林認証を取得した建築物が少しずつ増加しています。今後は企業の社会的責任だけでなく、多くの最終消費者が森林認証制度を認知し、地域の持続可能な森林管理を意識するきっかけにつながることを期待しています。

上川総合振興局では、これまでの取り組みにより得られた上川地域の「森林認証」という強みを活かしながら、地域の木材製品の利用を管内外で拡大するため、様々な関連事業者の皆様と連携した普及PRを実施していく考えです。

参考

1) 森林認証に関連する用語

FSC	世界規模で展開する国際的な認証制度
SGEC	人工林が多い日本の森林の特色を踏まえた日本独自の認証制度
FM 認証	森林が持続的に管理されていることを第三者機関が審査し、認証する仕組み
COC 認証	FM 認証を取得した森林から生まれた木材が、他の木材と混ざらずに製品になっていることを認証する仕組み

- 2) 北海道上川総合振興局産業振興部林務課：森林認証取得テキスト～木材産業者向け～，https://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/ninshou_kamikawa.html, 2023.3.
- 3) 北海道上川総合振興局産業振興部林務課：森林認証取得テキスト 家具・クラフト製造業者，工務店をはじめとしたすべての加工事業者の皆様へ，https://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/ninshou_kamikawa.html, 2024.3.